

2008年度日本トライボロジー学会「トライボロジーオンライン論文賞」の受賞について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、このたび、社団法人日本トライボロジー学会から2008年度日本トライボロジー学会「トライボロジーオンライン論文賞」を受賞しました。
2. 今回受賞した「トライボロジーオンライン論文賞」は、2008年度に新設された賞で、日本トライボロジー学会が発行する英文オンラインジャーナル“Tribology Online”に掲載された論文のうち優れた論文の著者に対して授与されるものです。
3. 具体的な受賞内容は次のとおりです。
 - (1) 受賞名: トライボロジーオンライン論文賞
 - (2) 論文テーマ: Direct Observation of Thermo-Reversible Gel-Lubricants in EHL by FT-IR Micro-Spectroscopy
(顕微フーリエ変換赤外分光法(注1)を用いたEHL域(注2)における熱可逆性ゲル状潤滑剤(注3)の直接観察)

(注1) 赤外分光法(赤外線吸収スペクトル法)とは、有機化合物の化学構造を分析する手法。本研究では、狭小領域の観察を目的として顕微方式を適用し、測定・解析は、周波数感度を高めるフーリエ変換法を採用。
(注2) EHL(Elastohydrodynamic Lubrication)とは、弾性流体潤滑と呼ばれ、高荷重下でボールベアリングや歯車などの金属材料が弾性変形する潤滑環境を示す。
(注3) 熱可逆性ゲル状潤滑剤とは、当社が新規開発した潤滑油剤。常温で半固体、高温で液体となる特性を有する。
 - (3) 受賞者: 次の3名による共同受賞
高橋一聡(当社研究員)
設楽裕治(当社研究員)
森 誠之(岩手大学教授)
 - (4) 受賞理由: 当該論文は、熱可逆性ゲル状潤滑剤の特異なトライボロジー特性を解明するために、顕微フーリエ変換赤外分光法を検出器としたボールオンディスク型潤滑試験機を用いてEHL接触域における油膜の厚さ、アミド系ゲル化剤の濃度を観察し、潤滑作用メカニズムを考察したものであり、受賞はその知見が高く評価されたものです。
4. 昨5月19日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて表彰式が行われ、受賞者が受賞講演を行っております。

以上

● 【添付資料】受賞式の模様



受賞者(左から 森誠之岩手大学教授、高橋一聡研究員、設楽裕治研究員)



受賞講演の様子(受賞講演を行う高橋一聡研究員)